



インスピレーションになろう



バリー・ラシン  
2018-19年度国際ロータリー会長

No. 28

Takasago Rotary Club

週報

高砂

### クラブ会長方針

“価値あるロータリーを”

- ①居心地のいいクラブ
- ②いつでもどこでも誰とでも親睦
- ③会員同士が刺激しあい、尊敬しあい、お互いの活力になろう
- ④ロータリーの価値を意識しよう

例会記録 (2019. 2. 15 (金)) 通算3,202回

#### ◆開会・点鐘

#### ◆ロータリーソング「我等の生業」

#### ◆「四つのテスト」唱和

#### ◆ゲスト紹介

高砂警察署長 岡村 好文 様   巡査部長 新野 秀樹 様

#### ◆歓迎歌「松の緑」

#### ◆プログラム予定

2月22日 (金)	3月2日 (土)	3月8日 (金)	3月13日 (水)
卓話「ワイン概論・ワインと料理のマリアージュ」 キッコーマン食品(株)近畿支社 越智健一 氏 坂寄徹太 氏	移動例会(1日分) 東播第2グループ I. M. 加古川平成 ロータリークラブ	卓話「受動喫煙防止対策について」 MHPS 産業医 高原 香 氏	高砂青松RCとの合同例会 (ウエディングパレス鹿島殿) (15日分) 「なぜあの会社の女性はイキイキ働いているのか?」 パソコンのお医者さん

## ◆出席報告

本日2月15日 会員数42名 出席者 21名 出席率50.0%  
前々回2月 1日 会員数42名 修正出席者40名 出席率95.24%修正

## ◆MAKE-UP

桂田 重信会員	e-CLUB	2月14日(2月15日)
後藤 純次会員	e-CLUB	2月13日(2月15日)
中尾 良治会員	e-CLUB	2月13日(2月15日)
中野 哲郎会員	e-CLUB	2月12日(2月15日)
丸山 恵右会員	e-CLUB	2月11日(2月15日)
守光 隆会員	e-CLUB	2月 9日(2月 1日)

## ◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

坂井 智代会長……岡村署長、新野巡查部長、ようこそお越し下さいました。  
本日の卓話よろしくお願ひします。

信原 智彦会員……岡村署長、新野巡查部長ご来訪ありがとうございます。

森本 幸吉会員……岡村署長、新野巡查部長、ようこそ高砂RCへ。  
卓話よろしくお願ひします。

早退1名



親睦・出席委員会  
池本和正 副委員長



加治屋 昭平 副S.A.A.

## ◆幹事報告

〈国際ロータリー第2680地区より〉

◎第31回全国ローターアクト研修会並びに国際ロータリー第2700地区ローターアクト第50回地区大会本登録のご案内が届いております。

詳細は回覧で確認をお願いします。

## 〈例会変更のお知らせ〉

### ◎高砂青松RC

3月 6日（水）→ 3月 2日（土）  
東播第2グループIMに変更

### ◎加古川平成RC

3月 6日（水）→ 3月 2日（土）  
東播第2グループIMに変更

3月20日（水）→ 休会

### ◎明石西RC

2月28日（木）→ 創立記念例会に変更  
（時間延長17時30分～19時30分）

3月 7日（木）→ 職場例会に変更（兵庫県立農林水産総合センター）

3月21日（木）→ 休会（祝日）

## 〈その他〉

◎明石南RCより『3月例会プログラムが届いております。』



堀 直樹 副幹事

## ◆会長の時間

### 「十年一昔」

私の生業である医学の世界は日進月歩で、病気の治療方法のトレンドも年々変化します。先日、眼科医会から配布された雑誌に「10年後の眼科医療にむけて～今後取り組むべき研究～」という特集があり、興味深かったので内容を少し紹介します。

眼科医療が次の10年後に目指している事が大きく二つ示されています。まず一つ目は、視覚障害の克服です。眼科領域ではいまだに緑内障や加齢黄斑変性症など失明にいたる病気が多く存在します。それらに対する革新的な発展を遂げたい。そこで注目されているのがAI（人工知能）を用いた診断と研究の向上です。すでに糖尿病網膜症など一部の病気については診断根拠となる基本データをAIに入力し自動診断させる器械が海外では販売されています。眼底写真を撮れば器械が自動的に写真の所見を分析し糖尿病網膜症などの診断をします。日本ではまだそのシステム導入について、間違った運用をされないか？あるいは眼科医の仕事がAIにとって代わるのでは？などと危惧され、問題点や批判がありますが、それでも今後は自動診断システムの開発が急速に進むと予測されます。また、ビッグデータの活用が注目されています。いろいろな病気の治療成績や研究の結果は、現状では各大学や病院・診療所の先生方が個々にもっておりそれらを学会で発表しますが、今の時代は電子カルテや保険診療情報の開示が進み他施設と情報共有ができますので、今後は個々のもっているデータを集積し全国規模のビッグデータにし、そこから標準治療を示していこうという方向性があり



坂井智代 会長

ます。また、再生医療の発展にも注目です。ノーベル賞をとった山中教授らの尽力でiPS細胞を使った再生医療の応用が進んでいます。これまでの眼科の常識では一度失った神経は（自然の摂理により）再生しないとされていましたが、今後は失った細胞を復活させるための再生医療が様々な課題を克服しつつ標準治療となる可能性があります。

次に二つ目の眼科医療の大きな方向性として、目と体（循環器系・脳疾患）に関連する研究の発展があります。AIを用いた画像解析に深層学習を導入することにより眼底写真から脳卒中や循環器疾患の発症リスク・血圧や喫煙の状況・肥満度の予測、そして網膜所見からアルツハイマー病などの認知症が超早期診断できる可能性がでてきています。

10年後の眼科医療が目指すところをお話ししましたが、10年後のことなんて予測つかないのが現実です。「十年一昔」とは、「世の中の移り変わりが激しいことのたとえで、十年という年月を区切りとして、それ以前は昔のように思われること（三省堂新明解四字熟語辞典）」とされていますが、たまに10年後に思いを馳せることはこれまでの振り返りにもなり、いいことだと思いました。

## ◆本日のプログラム

卓話『私の警察人生』 高砂警察署長 岡村 好文 様



森本幸吉 プログラム委員長



高砂警察署長 岡村好文 様



坂井智代 会長 岡村好文 署長 新野秀樹 巡査部長

会 長 坂井 智代                      幹 事 後藤 宗久  
例会日時 毎週金曜日12時30分より  
高砂ロータリークラブのホームページのURL

雑誌会報委員長 加茂 良祐  
例会場 高砂商工会議所 2階会議室  
[http://www.winwin.ne.jp/~takasago\\_rc/](http://www.winwin.ne.jp/~takasago_rc/)